

消火訓練中に・・・ - 西日本防災システム

2013 08 04

8月4日午前6時40分頃、滋賀県東近江市小脇町のグラウンドで、自治会の消火訓練の準備中、火が付いたアルコールが飛び散り、近くにいた小学1年(6)と2年(8)の女児2人と消防団員の男性(50)が全身やけどの重傷を負いました。周りにいた男女7人も軽いやけどを負ったようです。県警は業務上過失致傷の疑いもあるとみて、事故の詳しい状況を調べているそうです。

東近江署によりますと、事故当時、早朝のラジオ体操に参加した住民ら約150人が集まっていたそうです。消火器の訓練のため、重傷を負った消防団員が鉄製容器(縦60cm、横90cm、深さ20cm)にアルコールを入れて点火したが火の勢いが弱く、ポリタンクでつぎ足した直後に大きな音とともに火が飛び散り、団員や女児らの衣服に燃え移ったそうです。

会見した市や市消防団幹部によりますと、アルコールはエタノールで、訓練には消防団員計3人が立ち会ったそうです。事故の約5分前に点火し、その後、重傷を負った団員が手をかざしたり、目視で火の勢いを確かめていたようです。事故直後、この団員は「火が消えているのを確認するのに」と話していたといいます。

市消防団長によりますと、「水をかけるなどして火を完全に消してからエタノールを加える」との指導が守られていなかったといいます。また訓練用の水消火器はあったが、粉末が入った本来の消火器やポンプ車などはなかったようです。消防団には、訓練の際の安全対策や手順を決めたマニュアルもないようです。消防団を管轄する副市長は「訓練の詳しい中身を確認すべきだった」と話したそうです。

消火訓練にアルコールですか？ 詳しい内容は調査結果を待って 続報でお知らせいたします。火傷を負われた子供達と消防団員のかたの早期の回復をお祈りいたしております。

訓練での火勢はこんな感じです ➡



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ ➡